

「ウィズコロナにおけるオンライン日本語教育実証事業」の

【電子版】二次利用のガイドライン

①スクリーンショット

ご利用可能な範囲：宿題やテストの提出と評価（LMS でやり取り）

例：学習者が電子版の「付箋」「ペン」機能を使って解答を入力→スクリーンショットをペイントに貼り付け→  
教師がペイントのテキスト入力等で確認または採点（プリントアウト不可）

以下は LMS 内でもご利用できません。

- ・教師から複数の学習者に対してスクリーンショットを一斉送信（正解等）
- ・学習者の記入のないページのスクリーンショット作成

②パワーポイント等、板書の代替

まとまった内容をそのまま入力することや、スクリーンショットの貼り付けはできません。教師オリジナルの内容にしてください。

③チャット

ご利用可能な範囲：リアルタイムの授業中、チャット等の機能で授業中にその場限り表示

④講義動画（オンデマンド授業）

ご利用可能な範囲

- ・②のパワーポイント（教師オリジナルの内容）を映し、教師が解説する動画（LMS に保存しコースの受講生のみ視聴可能）。
- ・「みんなの日本語初級 I 第 2 版本冊」「同初級 II 本冊」の電子版を映し、教師が解説する動画（LMS に保存しコースの受講生のみ視聴可能）。コース終了後削除をお願いします。電子版を映して作成した動画は、文化庁への提出はできません。また文化庁日本語教育実証事業以外でのご利用もできません。

講義動画で映すことができる電子版は「みんなの日本語初級 I 第 2 版本冊」「同初級 II 本冊」のみです。

⑤授業の録画

ご利用可能な範囲：時差や通信環境により、リアルタイムの授業に参加できなかった（参加できない）学習者のために、リアルタイムの授業（電子版・パワーポイント・チャットの画面共有あり）をそのまま録画して LMS に保存して受講生に提供すること。

コース終了後削除をお願いします（LMS に保存しコースの受講生のみ視聴可能）。録画した動画は文化庁へ提出できません。

⑥その他

テスト作成ツール・アプリ・web フォーム等への入力・データベース作成：ご利用できません。

※いずれのデータも、学習者から第三者への送信や YouTube 等へのアップロードをして、教師や同一コースの受講生以外が見られる状況にすることはできません。学習者の著作権に対する教育にご協力をお願いします。

以上